

**【小学校第5学年の実践】**

## 1 主題名

困難を乗り越える【A 希望と勇気、努力と強い意志】

## 2 教材

昭和の大横綱 大鵬 幸喜（北海道版道徳教材（小学校高学年用））

## 3 主題設定の理由【指導観】

## (1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

努力と強い意志とは、児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくために、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもち、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことである。

第5学年の指導に当たっては、苦しくてもくじけずに努力して物事をやり抜き、失敗を重ねながら夢を実現した人に触れ、希望をもつことの大切さや、希望をもつが故に直面する困難を乗り越える人間の強さについて考えさせることを通して、自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指して困難があってもくじけずに努力し続けようとする実践意欲や態度を育てることが大切である。

## (2) 児童の実態【児童観】

自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指して困難があってもくじけずに努力し続けようとする実践意欲や態度を育てるために、道徳科以外では、次のような指導を行っている。

## ①体育科「よさこい」

困難があってもくじけずに物事をやり抜こうとする実践意欲と態度を育てるために、運動会の表現種目として「よさこい」に取り組んだ。児童はなかなか動きを覚えられなかったり、思うように表現できず悔しい思いをしたりすることもあったが、よりよい表現を目指し、粘り強く取り組むことで、困難や失敗を乗り越え努力し続けようとする意欲をもつことができた。今後は、自分の目標に向かって、勇気をもって困難や失敗を乗り越え、努力することの大切さについて考えさせるよう指導する必要がある。

## ②日常の指導「家庭学習継続表の取組」

自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指して努力しようとする実践意欲と態度を育てるために、家庭学習を継続的に表に記入する取組を行っている。自分で設定した目標に向かって家庭学習を続け、その質や量に見合ったポイントを記録化することにより、毎日くじけずに努力し続けようとする態度が育ってきた。今後は、自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指して失敗を経験しても努力し続けることの大切さやよさについてじっくりと考えさせるよう指導する必要がある。

## (3) 教材について【教材観】

強い意志をもって努力し続けることの大切さやよさについて多面的・多角的に考えさせるために、苦しくてもくじけずに努力し続けたときの大鵬の気持ちを中心に話し合わせる。

そのために、一つ目の発問では、「大鵬が『天才と言われるのが非常に嫌い』だったのはなぜでしょう。」と問い、大鵬が困難にくじけず、強い意志をもって努力し続けたことについて考え、人間理解を深めることができるようにする。

さらに、中心的な発問では、「大鵬はなぜこんなにも努力できたのでしょうか。」と問い、自分の目標の達成を目指して希望と勇気を持ち、困難があってもくじけず努力することやそれを支える思いについて話し合い、価値理解・他者理解を深めることができるようにする。

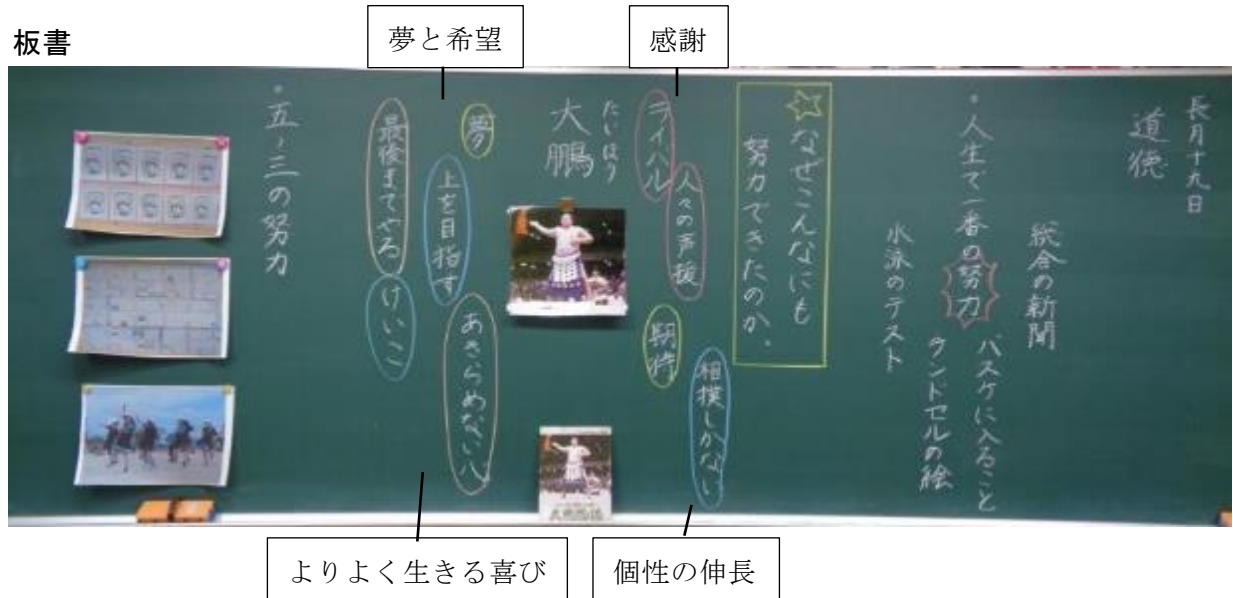
#### 4 ねらい

大鵬幸喜の生き方に触れることを通して、自分の目標に向かって、勇気をもって困難や失敗を乗り越え、努力しようとする実践意欲や態度を育てる。

#### 5 学習指導過程

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・子どもの反応	・指導上の留意点 ■評価	「考え、議論する道徳」 に向けた工夫
導入	● 自分が努力した経験について話し合う。 ○ これまでの人生で一番努力したと思うことは何ですか。また、その時にどのようなことを考えてがんばりましたか。 ・水泳のテストで合格するように練習をがんばった。 ・総合的な学習の時間の新聞づくりで完成できるように最後まで取り組んだ。	・ねらいとする道徳的価値への方向付けとして、児童の努力した経験を想起させる場を設ける。	<b>【工夫①】</b> ・自分の経験を想起させて話し合うことで、人によって経験の内容に差があり、感じ方に違いがあることに気付かせ、教材の内容につなげるようにする。
展開	● 教材「昭和の大横綱」を読み、話し合う。 ○ 大鵬が「天才と言われるのが非常に嫌い」だったのはなぜでしょうか。 ・自分自身が、ものすごく努力してがんばった結果なのに、最初からできたかのように言われるのは嫌だったからだと思う。 ・「天才」と言うと、努力しないでできたという感じがするから。 ・横綱になるまでにすごく努力をしたので「天才」という言葉を使われなくなかったのだと思う。 ◎ 大鵬はなぜこんなにも努力できたのでしょうか。 ・周りから期待されていたから。 ・ライバルがいたから。 ・上を目指す夢があったから。 ・諦めない心をもっていたから。 ・自分に少しずつ力が付いてきていることがわかったから。	・大鵬が困難にくじけず、強い意志をもって努力し続けたことについて考え、人間理解を深めることができるよう働きかける。  ・大鵬が努力し続けたときの考えや気持ちを話し合い、価値理解・他者理解を深めることができるよう働きかける。	<b>【工夫②】</b> ・苦しくてもくじけずに努力し続けた大鵬への自我関与を通して考えさせることにより、自分の意見をもたせるとともに、その意見を基にして交流することで、別の見方・考え方に触れ、多面的・多角的に道徳的価値を見つめることができるようにする。
	● 自己を見つめる。 ○ 授業の最初に話し合った努力した経験の中で、自分ががんばれたのはなぜでしょうか。 ・家族や周りの人たちの期待があったから。 ・大鵬さんと似ていて、自分には夢があったから。 ・もっと上手になりたいし、周りの人が応援してくれたから。	・自己の生活や生き方を振り返り、自己理解につなげられるようにする。 ■ 高い目標を立て、努力することの大切さについて、自分との関わりで、考えを深めることができたか。	<b>【工夫③】</b> ・導入の内容と関連させながら、自分の生活を振り返ることを通して、自己の生き方について考えを深められるようにする。
終末	● 本時の振り返りをする。 ○ 今日の学習で考えたことや自分の心の変化についてまとめましょう。 ・努力は、自分一人ですてきたと思っていたけど、家族の期待などで努力し続けられたと思った。 ・何をやるにも最初からあきらめないようにしたいと思った。	・これまでの学校生活の写真などを見ながら、困難があってもくじけずに努力しようとする実践意欲や態度が育まれるようにする。	

6 板書



7 ノート・ワークシート

○ 大鵬はなぜこんなにも努力できたのでしょうか。

・親方が 教えてくれた。  
人々の声援が 大鵬さんの努力になった。  
 横綱大鵬は自分には 相撲しかない 思ったから。  
 自分で決めたことを 最後までやり 思ったからです。

○ 今日の学習で考えたことや自分の心の変化についてまとめましょう。

何かをやる時は 人々の支えがあるという  
ことをわすれなし。 最初から何をやるに  
しても あきらめないように する と思いました。  
 あきらめない心と練習だけで努力してきたと思っていた。  
 けれど 家族などからの期待などで 努力 続けられた  
 人だと思った。

**【授業実践を振り返って】**

強い意志をもって努力し続けることの大切さやよさについて自分との関わりで多面的・多角的に考えることができるよう、中心的な発問を吟味し、「大鵬はなぜこんなにも努力できたのでしょうか」と問いかけました。

児童からは、

- ・周りから期待され、人々の声援があったから（周りの人の励ましや賞賛）
- ・ライバルがいたから（周りの人の存在）
- ・上を目指そうとする気持ちがあったから（よりよく生きる）
- ・夢をもっていたから努力することができた（夢や希望）
- ・諦めない心をもっていたから（強い意志）
- ・決められた以上のことをできるまでやろうと思ったから（強い意志）
- ・自分に少しずつ力が付いてきていることがわかったから（自分のよさ）

などの発言が見られ、「感謝」「よりよく生きる喜び」「個性の伸長」等の道徳的価値と関連させながら、自分との関わりで多面的・多角的に考え、「希望と勇気、努力と強い意志」について考えを深めることができました。